

■ 文部科学大臣表彰

- ・スポーツ推進委員功労者（2名）
中野 悦子（入善町） 酒井 妙子（上市町）

■ 全国スポーツ推進委員連合表彰

- ・スポーツ推進委員功労者（2名）
福嶋 義明（氷見市） 水戸 明美（南砺市）

・30年勤続スポーツ推進委員（10名）

- 立浪 由美（高岡市） 北田 悦子（高岡市）
- 桶川 慶子（高岡市） 武内三千代（高岡市）
- 志村美美江（高岡市） 棚辺 准（高岡市）
- 清水 正美（射水市） 砂原いづみ（射水市）
- 飯田富士子（入善町） 大藏 慶子（朝日町）

・スポーツ推進委員優良団体（1団体）

上市町スポーツ推進委員協議会

■ 中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会表彰（4名）

- 赤壁 早苗（射水市） 海木 茂（氷見市）
- 林 茂之（氷見市） 高森 志郎（高岡市）

■ 北陸地区スポーツ推進委員協議会表彰（12名）

- 蛇見由紀子（砺波市） 藤井 保博（富山市）
- 兼田美智恵（黒部市） 金 孝春（射水市）
- 平野 浩司（魚津市） 石原夫砂子（魚津市）
- 久々江いづみ（高岡市） 井上 悦子（富山市）
- 平垣 恵子（富山市） 鷹田 喜美（小矢部市）
- 熊野 栄子（滑川市） 竹田 一美（南砺市）

【編集・発行】富山県スポーツ推進委員協議会 【発行日】令和8年3月31日
事務局／富山市新総曲輪1-7 富山県生活環境文化部スポーツ振興課 TEL：076-444-3461 広報部／高岡地区協議会HP／<http://www.toyama.sports-suishin.jp/>

委員全員が「参画」するスポーツ推進委員協議会へ



富山県スポーツ推進委員協議会 会長 長谷 哲男

スポーツ推進委員の皆様には、日頃から地域スポーツの振興やスポーツ活動・各種イベントの中心となってご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

スポーツ活動を支える良き理解者・伴走者として、お力添えをいただけますと幸いです。

令和7年度を振り返りますと、魚津市での北陸地区スポーツ推進委員研修会の開催をはじめ、小矢部市でのスポーツ推進委員フェスタ、長野県での全国スポーツ推進委員研究協議会や富山マラソンなど主要な事業・行事が数多く実施されました。これらが実り多く、つつがなく終了できましたのは、ひとえに皆様のご協力のおかげです。誠にありがとうございました。

令和8年度からは新たな任期が始まり、新しい仲間も加わります。さらに充実した組織となるように、新年度に向けて私からお願いしたいことがあります。それは、「委員一人ひとりの積極的な事業参画」です。これまで、各種研修会やイベントの多くは、市町村協議会の執行部や事務局が中心となり企画・運営されてきましたが、より質の高い事業を展開するためには、企画の段階から皆様の多様な視点を取り入れることが不可欠です。会議やアンケートなど様々な手法を取り入れ、委員全体で意見を出し合い、課題を共有・議論することにより、より素晴らしい事業が展開されるはずと信じております。

さて、現在、スポーツを取り巻く環境は大きな転換期にあります。特に少子化や教員の長時間労働といった状況を背景とした「部活動の地域展開」は、避けては通れない全国的かつ喫緊の課題であることは、以前にもお伝えしたとおりです。

「自分たちの協議会を自分たちの手で創る」

富山県においても、指導者人材バンク「パスネットとやま」を活用しながら事業を進めておりますが、何より期待されているのは、地域に根差した皆様の力です。ぜひ、地元の要望に耳を傾け、子どもたちの地域

そのためには、まずは皆様お一人おひとりが健康に留意され、ぜひ積極的に活動に関わっていただきますようお願い申し上げます。

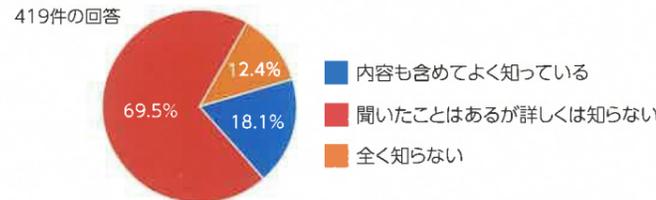
新体制となる来年度は、より一層団結し、富山県のスポーツ振興と県民の健康・福祉の増進を図るために、みんなで汗を流してまいります。

スポーツ推進委員の活動状況アンケート〈活躍推進部〉

部活動の地域展開が進む中、少子化により10年以内に学校部活動の維持が困難になる見込みです。国や地方自治体が各種施策を展開しており、スポーツ推進委員への期待も高まっています。今回のアンケートでは実態把握とクロス集計の考察を行いました。この結果を今後の施策立案に是非ご活用ください。なお、グラフの言葉が切れている箇所は、全結果を富山県スポーツ推進委員協議会ホームページで公表しておりますのでご確認ください。ご協力ありがとうございました。(回答424件)

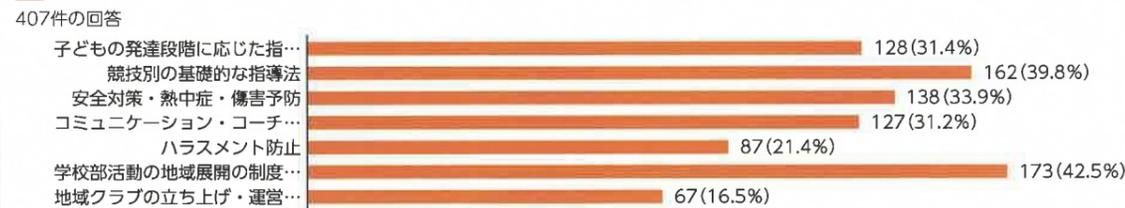


1 学校部活動の地域展開についての認知度

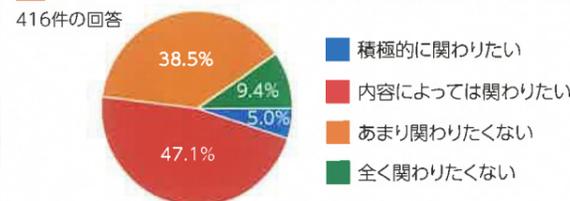


【考察】
質問1では「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が70%で認知度が低く、具体的な理解が不足していました。そのため質問2にあるように協力しやすくするために「学校部活動の地域展開の制度や仕組み」がわかる研修会が必要になることがわかりました。

2 どのような研修・講習があれば、学校部活動の地域展開に協力しやすくなりますか(複数回答可)

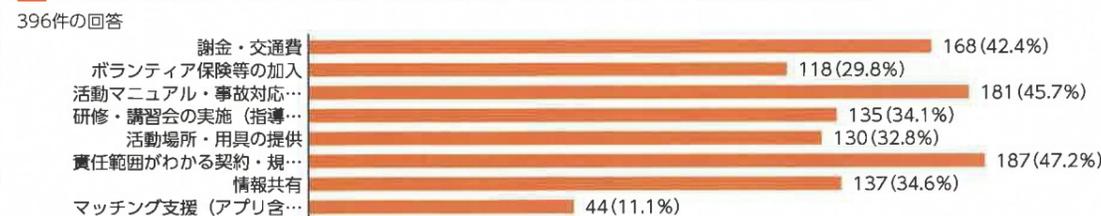


3 スポーツ推進委員として、学校部活動の地域展開にどの程度関わりたいと思いますか



【考察】
質問3では「内容によって関わりたい」と回答した層が最多を占めています。このことから、質問4で挙げられた「整えて欲しい条件」を1つずつ改善し、安心できるサポート体制を段階的に整備していくことで、協力意欲を持つ方を増やせる可能性があると思われます。

4 協力する上で、行政や学校、地域に整えて欲しい条件や支援(複数回答可)



第63回県スポーツ推進委員フェスタ〈事業部〉

9月7日(日)、約450名参加の下、第63回富山県スポーツ推進委員フェスタを開催しました。「勝ち負けばかりでなく、グループでの交流を楽しんでほしい」という開催地としての思いがあり、新競技「チャレンジ・ザ・ゲーム」を含む4つの競技を行い、各会場でそれぞれスポーツに親しみました。

ない戦いとなり、会場は大いに盛り上がっていました。

「ホッケーのまち」である小矢部市にとって外せない競技である「メルヘンユニホック」では、ニュースポーツならではの細かいルールに苦戦しながらも、攻防がめまぐるしく入れ替わるスピード感ある白熱した試合が繰り広げられました。「パークゴルフ」では、今回は参加チームの平均打数により順位を決定することとなり、仲間の応援に、より一層力が入っている様子が見られました。「ワンバウンドふらば〜るバレー」では、蒸し暑い体育館の中、1点を争う攻防に熱気と歓声が上がっていました。そして、「チャレンジ・ザ・ゲーム」では、チームの絆が試される種目から体力勝負の種目まで様々なレクリエーションが行われました。全5種目の合計点数で競われるため、最後まで勝敗が分から

今回のフェスタでは、天候にも恵まれ、大きな怪我や重度の熱中症等の発生はありませんでした。しかし、年々気温が上昇し、今後も暑さが懸念される中での開催となること、道具の必要な競技への練習会等の配慮、そして主催郡市への負担についてなど、今後の県フェスタ開催に向けて様々なことを考えるきっかけとなりました。これからは県内のスポーツ推進委員が集い、スポーツを通じた交流を楽しみながら、よりよい形でフェスタ開催を目指すとともに、今回の新しい競技の取組が各市町村へ広まり、より一層のスポーツの推進につながれば幸いです。



文部科学大臣表彰

入善町スポーツ推進委員協議会

会長 中野 悦子 さん (入善町)



この度、文部科学大臣賞という栄えある賞を賜り、身に余る光栄に存じます。

この賞はこれまで地域の仲間や多くの皆さまと共に活動してきた成果であり、私個人ではなく、代表としていただいたものと受け止めております。

地域のイベントでは、子供から高齢者まで多くの方と関わらせていただいています。スポーツは体力づくりにとどまらず、人と人をつなぎ、活力と笑顔を生み出す力があります。

今後も、スポーツを通して地域に明るさと元気を届けられるよう、さらに貢献していきたいと思っております。これからもご指導、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

上市町スポーツ推進委員協議会

副会長 酒井 妙子 さん (上市町)



この度、文部科学大臣表彰という栄えある賞を賜り、誠に光栄に存じます。これもひとえに、日頃からご指導ご支援を賜りました皆様方のお陰と、心より感謝申し上げます。

平成4年から現在まで地域のスポーツ振興をはじめ、全国スポレク祭、ねんりんびっく、富山マラソンなど大きなイベントに携わり、多くの方と熱く交流を深めてきました。

振り返れば、あつという間の34年間です。この受賞を新たな励みとし、今後も初心を忘れることなく、スポーツを通じた地域の絆づくりに全力で取り組んでまいります。引き続き、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

優良団体表彰

優良団体表彰を受賞して

上市町スポーツ推進委員協議会

この度、全国連合より優良団体表彰を受賞させていただきました。ひとえに長年にわたり活動を支えてくださった関係者や地域住民の皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

私たちは、「地域スポーツの推進役」として、子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでまいりました。多世代にわたる委員が協力し、各種スポーツ教室の開催や地域イベントへの協力など、地道な活動を積み重ねてきたことが、受賞につながったものと考えております。

現在、部活動の地域展開など、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、スポーツ推進委員に求められる役割もますます重要になっています。今回の受賞を新たなスタートとして、より充実したスポーツ環境づくりに努めてまいります。

北陸地区研修会〈研修部〉

6月28日(土)・29日(日)に魚津市において、「令和7年度北陸地区スポーツ推進委員研修会兼令和7年度富山県スポーツ推進委員研修会」を開催しました。北陸四県からスポーツ推進委員ならびに生涯スポーツ関係者663名の参加があり、研修会当日は好天に恵まれ、滞りなく研修会を終了することができました。

「心豊かなスポーツライフ・ウェルビーイングの向上を目指して」のテーマのもと、1日目の講演会では、90歳と10日で世界最高齢の女性クロスカントリースキーヤーとしてギネス世界記録に認定された佐伯克美氏に今日までの貴重な体験をご講演いただきました。その後の県代表による事例発表を含め、スポーツ推進委員が健康寿命の延伸、スポーツライフの充実に貢献できるヒントをもらうことができました。

2日目の実技研修では、ユニホック、エアロピクス、モルック、ワンバウンドふらば～るバレーの4種目を実施し、各種目で熱気あふった研修・ゲームが行われました。誰もが楽しめ、親しむことができるユニバーサルスポーツの側面を重視した魚津式のルールを提供するとともに、ルールの詳細を二次元コードから参照できるようにするなど、各地区に持ち帰って参考にできる工夫を盛り込みました。

今回の2日間の研修会が北陸地区スポーツ推進委員協議会の発展、各地区におけるコーディネーターや指導者としての更なる活躍に寄与できれば幸いです。



ラジオ体操指導者講習会〈研修部〉

12月7日(日)、富山市屋内競技場(アイザックドーム)において、101名の参加の下、「令和7年度富山県スポーツ推進委員ラジオ体操指導者講習会」を開催しました。講習会に先立ち、富山県スポーツ推進委員功労者表彰(10年表彰)が行われ、表彰式に参加された21名の方が受賞されました。

ラジオ体操指導者講習会では、NPO法人全国ラジオ体操連盟より指導委員の藤元直美氏、五日市祐子氏をお迎えし、「みんなの体操」や、お馴染みの「ラジオ体操第1・第2」の実技講習を行いました。講習の中で、指導の際に年齢や体力に合わせて無理なく実施できる動作のポイントや指導時の声かけの工夫、現場で役立つ実践的な説明があり、参加者はうなずきながら熱心に体を動かしていました。また、動作について、講師から正しい姿勢や体の使い方を細かく解説していただきながら学ぶことができ、参加者からは「普段何気なくやっていた動きの意味がよく分かった」「指導のポイントが明確になった」といった声が多く聞かれました。

講習会の最後に、自分のラジオ体操の動作がどれだけ正しいかAI判定ができる「ラジオ体操アプリ」やラジオ体操がもたらす効果について紹介され、とても興味深い情報を得ることができました。

講習会終了後も講師の方に個別に質問したり、記念撮影したりするなど、会場は終始活気に満ちた雰囲気の中で参加者同士が高め合う有意義な時間となりました。本講習会で得た学びが、今後の地域のラジオ体操普及と県民の健康づくりのさらなる推進につながることを期待しています。



地区研修会の紹介

魚津地区

6月7日(土)に入善町総合体育館及び入善町中央公園多目的施設「わくわくドーム」において、魚津地区研修会を実施しました。6月末に魚津市にて北陸地区スポーツ推進委員研修会を控えており、その2日目の実技研修では、ワンバウンドふらば～るバレーを下新川郡協議会が、モルックを黒部市協議会が担当するというので、およそ60名が参加しました。実技研修の進め方や審判する際の留意点等、実技を通して理解を深めました。

北陸地区研修会当日を想定し、「基本動作やルールの指導法」について、全体講習→デモンストレーション→競技という順で進めました。最初に全体講習をすることにより、ルール等で曖昧になりがちな部分を解消して共通の土台をつくり、次にデモンストレーションを通して、種目について理解を深めました。実際に競技を行うことでその特性を味わい、おもしろさを感じることができました。こうした流れで進めることが、これらの種目だけでなく、ニュースポーツを地域住民に広めていく際に有効であると改めて感じました。

今回は、北陸地区研修会を想定して種目についての事前研修会を重ねました。その後、地区研修会を行ったことで、競技等の理解がより深まるとともに、仲間と協働する心地よさを味わうことができました。これらの成果を基に、それぞれの市町においても、スポーツを行う機会の創出や健康づくりの活動等に役立てていきたいと思います。



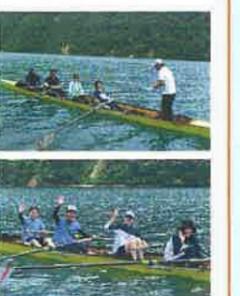
砺波地区

7月6日(日)南砺市桂湖において51名の参加の下、「カヌー&ナックルフォア」の研修会を行いました。当日は、天候も快晴、水量も豊富で、鏡のような湖面でのコンディションであり、研修が始まる前からワクワク感でいっぱいでした。

2人用のカヌーは、漕ぐときに腕の力に頼るのではなく、上半身の体のひねりを使ってパドルを操舵することがポイントです。視線は足元に落とさず遠くを見ることで、バランスが保ちやすくなります。また、ナックルフォアは、4人の漕ぎ手と一人の舵手で行います。安定性が高いので初心者向けです。全員が同じ力とタイミングで漕ぐことがポイントです。

スポーツ推進委員は、スポーツを楽しむことができる集団です。5分もたたずコツをつかみ、湖面で楽しむ余裕が随所に見られたところがさすがでした。対岸の岐阜県側まで遠征するボートがあれば、コントロール不能になりすすきの生えている中に突っ込んでいくボートもあります。その都度、笑い声が聞こえ、楽しいひと時を過ごすことができ、砺波地区スポーツ推進委員が一体となった姿が見られました。

今回の研修会の機会を通して、各地域のスポーツコーディネーターとして、より多くの地域住民にスポーツの楽しさを伝えるとともに、スポーツ推進に取り組んでいきます。



高岡地区

令和8年2月21日(土)アルビス小杉総合体育センターにおいて102名の参加の下、高岡地区スポーツ推進委員研修会を開催しました。

講師に富山福祉短期大学学長の泉敏郎氏をお迎えし、「ダイバーシティ(多様性)におけるスポーツパフォーマンス向上のための基礎知識」と題してご講演いただきました。実践を盛り込むことで分かりやすく、ユーモアも交えた楽しい雰囲気での講演でした。準備運動やストレッチの重要性、それらがスポーツパフォーマンス向上に効果的であると再認識することができ、日々の実践意欲が高まりました。

実技研修では、「スポーツウエルネス吹矢」と「ほおるんビンゴ」を行いました。富山県スポーツウエルネス吹矢協会から講師の方々をお迎えし、競技ルールやゲームの進行について詳しく教えていただきました。「ほおるんビンゴ」は岡山県津山市のスポーツ推進委員によって考案され、ボッチャの球や玉入れの球を投げてビンゴを作り、点数を競うニュースポーツです。参加者は、初めて「ほおるんビンゴ」を体験しましたが、このスポーツが持つ楽しさを十分に味わうことができました。

この研修会で学んだことを生かし、各市で広く人々が運動に参画できるよう、スポーツ推進委員が地域のスポーツコーディネーターとなって取り組んでいきたいと思います。



富山地区

令和8年1月25日(日)上市町文化研修センターにおいて、富山福祉短期大学幼児教育学科教授の小川耕平氏をお招きし、「スポーツ教室等の導入で生かすチームビルドとアイスブレイク」と題した実技研修を開催予定でした。しかしながら、今季最強寒波による大雪のため、参加者の皆様の安全を最優先とし、開催を中止いたしました。小川教授は、2月6日(金)からイタリアで開催される「ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック」への渡航を控えた大変お忙しい時期に、本研修のために貴重なお時間を作ってくださいました。資料には「言葉を形にする」「冒険教育」「ひと筆チャレンジ」といった大変興味深い内容が準備されており、学ぶ機会を持てなかったことが悔やまれます。ご興味のある方は、ぜひ「冒険教育コンフォートゾーン」で検索してみてください。お申し込みいただきました74名の皆様、今回は残念でしたが、また次の機会にお会いできることを楽しみにしております。

訃報

長きにわたり本協議会の活動に尽力してこられた県副会長・上市町会長 青木 敏光氏が、令和8年1月26日(月)にご逝去されました。

ここに生前のご厚誼を深謝しご冥福をお祈りするとともに、謹んでお知らせ申し上げます。